

2008年7月2日

LAS-E継続状況の点検結果について
(通知)

LAS-E判定委員会

判定委員長 寺西 俊一

判定委員 山本 武

判定委員 杉本 裕明

LAS-E判定委員会において、2007年度の取組み結果についての監査報告を受け、その状況を点検・検討した結果、以下の所見を通知します。

1. 運用自治体

東京都八王子市

2. 運用中の類型区分

エコアクション(環境活動)部門	第1ステージ
エコマネジメント(環境経営)部門	第1ステージ
エコガバナンス(環境自治)部門	第1ステージ

3. 点検の対象となった期間

2007年度(第2期目)

4. 取組み状況に関する所見

所見につきましては、別紙にて通知いたします。

所見

<全体評価>

運用二期目である平成 19 年度は、取り組み対象を教育・保育施設まで拡大しつつ、全体として良好な取り組みが維持されていると評価できます。300 近くに及ぶ部課・施設において大半の職員が環境配慮行動を実施し、その結果として独自目標の達成状況も良好となっており、職員・事務局の努力が定着していると思われま

<良かった点>

八王子市での取り組みの特徴として、各職場での独自の環境配慮行動や創意工夫が多く見られることが挙げられます。手引書にそったマニュアル的な行動だけでなく、今後の発展性が感じられます。

<今後の課題>

共通目標監査報告書で指摘されているとおり、今後は市役所内の取り組みにとどまらず、市域全体を対象とした環境政策に対象を広げ、市民や事業者にも環境への取り組みを拡大していくことが重要です。例えば、市内の地区別に、それぞれの地域特性を踏まえた環境保全活動を市民とともに推進する、学校での環境教育・環境活動を子どもも含めてより活発化させる、などが考えられます。このような試みが、第 2 ステージへのステップアップにもつながると思われま

<個別事項>

- ・ 監査対象の部課・施設が 300 近くに及んだ中、一部の職場で例外はありましたが、大半の職場において市民等による監査への対応が協力的であったことは評価すべきことです。LAS-E の理念と仕組みが市役所によく浸透していると判断できます。
- ・ 一方、監査対象数が多いことから、監査側の負担は少なくないと推測できます。スケジュールを調整する事務局側も大変とは思いますが、監査員の増員、監査行程の効率化など、監査チームの負担を極力低減することを検討して下さい。
- ・ 市民監査員の多くが、以前から環境パートナーシップ組織を通じて八王子市の環境政策に関わってきた方々であり、LAS-E に対する政策面での期待も大きいと感じられます。これに応えるためにも今後の発展を望みます。